

ソラマメ

ソラマメはマメ科に属する植物で、さやが天に向かって育つため「空豆」と名付けられたといわれています。ビタミンB群の働きで疲労回復に効果があるだけでなく、ソラマメに含まれるビタミンCには、ストレスを和らげ、ストレスに対しての抵抗力も高めてくれる効果があります。



作型 冷涼な気候を好み、寒さには比較的強いが早まきすると寒害をうけやすい。連作を嫌うので、3~5年輪作する。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
普通栽培						■	■			○	△		仁徳一寸・打越一寸・河内一寸

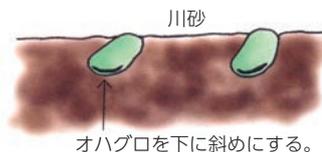
○：種まき △：植え付け ■：収穫

畑の準備・定植

土づくり aあたり	
堆肥	300kg
セルカ（有機石灰）	15kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
元肥 aあたり	
油粕	10kg
BMようりん	3~5kg
畝立時施用	

直まき

1条まき：畝幅1.2m 株間40cm
深さ2cmの穴に2粒まき本葉2~3枚頃に1本間引く。
（地際からハサミで切る）
直まきでは種子が腐りやすいので、ポットで育苗が良い。



育苗

- 直径9cmのポリポットに1粒オハグロを下に斜めにしてまき、種が見えない程度に覆土する。
- 灌水後、新聞紙などで覆う。
- 発芽し始めたら新聞紙を取る。育苗土は、ソラマメを栽培していない水田の土か、野菜専用培土を用いる。
- 本葉2枚になれば定植する。

〈ポットまき〉



追肥・土寄せ

- 3月中下旬（盛んに育ち始めた頃）：野菜専用肥料4kg/aを施用し、中耕、土寄せを行う。

整枝・土入れ

- 開花が始まったら、伸びの悪い枝は株元から切り取り、5~7本立ちとして、枝が外に開くように株の中に土入れを行う。
- 株が倒れないように、株元に土寄せし、支柱とひもで固定する。（株が大きくなると風で倒れやすい）

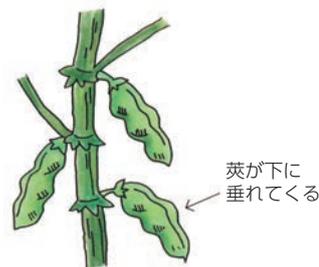


防除

病害虫名	耕種防除
アブラムシ	光反射テープを畝上に張る

収穫

- 莢に光沢が出て、背すじが黒色となり、莢が下向きに垂れた頃。
- 中の豆はオハグロの中心線がわずかに黒くなりかけた頃。



ニンニク

ニンニクはタマネギなどと同じように根もとの球根を主に食用とします。花茎の部分が一般に売られている「ニンニクの芽」と呼ばれているものです。ジャンボニンニクはリーキの仲間とされ、厳密にはニンニクと別種です。



作型

日当たりの良い保水性のある肥沃土が適し、乾燥と酸性土壌を嫌う。株元からわき芽が出るので芽かきを行い、1本立ちにする。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
秋 植 え						■	■			△	△		各種在来種（各地方の） ホワイト六片

△：植え付け ■：収穫

畑の準備・定植

土づくり a当たり

堆肥 300kg
セルカ（有機石灰） 15kg
植え付け15日前頃に土と良く混合

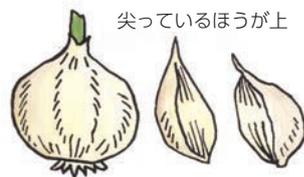
元肥 a当たり

醗酵鶏糞 20kg
畝立時施用

- 畝幅60～80cm
- 株間15cm
- 条間15～20cm（2条）

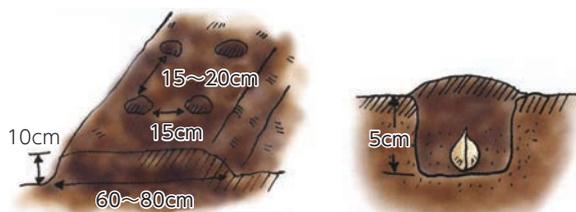
種球の準備

- 球根をばらして、傷や病気のないものを使う



定植

- 株間15cm、深さ5cmの植え穴に1片ずつ芽を上にして植え付ける。
- 植え付け後は十分灌水する。



芽かき

（草丈10～15cmの頃）

- 元気の良い芽を1芽残し、他の芽はかきとる。

つぼみ摘み

- 春にとう立ちして、つぼみがついていたら摘み取る。（葉の先端より長く伸びてから切る。）



追肥と土寄せ

- 11月と春先（3月下旬頃）芽が伸びはじめる頃に野菜専用肥料5～7kg/aを施用し土寄せする。

防除

病害虫名	耕種防除	薬剤防除
べと病	排水を良くする	Zボルドー 500倍
さび病	通風を良くする	ストロビーフロアブル 2,000倍 収穫7日前まで 3回以内

収穫

- 茎葉が黄色に変色し、枯れてから収穫する。（5月下旬～6月上旬）
- 晴れた日に収穫を行う。
- 根を切って乾かし、茎を切り風通しの良い所で保存する。